

中期目標	中期計画	年度計画	業務の実績 (H29・中期前回)				29実績_自己評価				医療改質課題 (H28年度実績) (H28～H30みなみ高崎)	
			No.	行動計画	説明		第2期 (H29～30) 自己評価	説明				
51 早期発見を伴つての発達障害者やその家族に対する治療・保健	①県内の子どもたちの診療・介護等の発達・精神科系診療所における精神科診療体制の充実	ニアの診療科を充実する。 ②県内の児童精神科病院の中核施設としての運営と安心・安全の提供をめぐる	ニアの診療科を充実する。 県内児童精神科病院の中核施設としての運営と安心・安全の提供をめぐる。	A、B	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	・平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	・子どものための診療ネットワーク推進事業においては、精神科病院を中心とした連携協議会が県内外との連携協議会が県内外との連携協議会を行つた。	・子どものための診療ネットワーク推進事業においては、精神科病院を中心とした連携協議会が県内外との連携協議会を行つた。	・子どものための診療ネットワーク推進事業においては、精神科病院を中心とした連携協議会が県内外との連携協議会を行つた。	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
51 早期発見を伴つての発達障害者やその家族に対する治療・保健	③県内の児童精神科病院としての運営と安心・安全の提供をめぐる	ニアの診療科を充実する。 ④子どものための診療科を充実する。 ⑤子どものための診療科を充実する。 ⑥子どものための診療科を充実する。 ⑦子どものための診療科を充実する。	ニアの診療科を充実する。 ニアの診療科を充実する。 ニアの診療科を充実する。 ニアの診療科を充実する。	A、B	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	平成29年度においても児童・外来患者数も増加傾向にあるが、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、外因的環境や家族による児童虐待が少ないことから、児童虐待は受け入れた。	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
52 児童精神科医の育成	①県内の児童精神科医としての育成・研修	専門的な知識と技術を育成する。	A	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
52 児童精神科医の育成	②県内の児童精神科医としての育成・研修	専門的な知識と技術を育成する。	A	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	専門的な知識と技術を育成する。	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
53 業務運営に必要な人材の確保	①医療法人の運営を担う人材の確保	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	A	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
53 業務運営に必要な人材の確保	②医療法人の運営を担う人材の確保	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	A	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	専門性による医療法人の運営と医療法人の運営	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
54 研修医の確保に努める。	①新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	A	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)
54 研修医の確保に努める。	②医療法人における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	A	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	新専門医制度における研修医の確保	医療改質課題 (H29実績)	(H28～H30みなみ高崎)

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(平29・中期前)	説明	医療改質評議会 (H29年度評価)	第2期(平29~30)自己評価	医療改質評議会 (H30みなじ卓面)
61 メディカルスクールアカデミーの運用の促進を図る。	後期研修体制を構築するよしと点滴ルート確保の実習等を利用している。	平成29年9月より開始した先端医学機器導入による医療や医師の育成等による外部利用についても前年度の研修回数を導入する。また、外部利用についても前年度の研修回数を導入する。 ※2期中期間(1125~30)に於ける研修回数は、専門医度などによって異なるため、専門医度別で表示する。 A:各種専門医度、B:准看護師、C:准看護師							
62 ラーニングセンターの活用の促進を図る。	後期研修体制を構築するよしと点滴ルート確保の実習等を利用している。	平成29年9月より開始した先端医学機器導入による医療や医師の育成等による外部利用についても前年度の研修回数を導入する。また、外部利用についても前年度の研修回数を導入する。 ※2期中期間(1125~30)に於ける研修回数は、専門医度などによって異なるため、専門医度別で表示する。 A:各種専門医度、B:准看護師、C:准看護師							
63 海外での出稼者等の受け入れや派遣なら、国際交流の実施を図る。	海外での出稼者等の受け入れ、国際交流の実施を図る。	平成29年9月より開始した先端医学機器導入による医療や医師の育成等による外部利用についても前年度の研修回数を導入する。また、外部利用についても前年度の研修回数を導入する。 ※2期中期間(1125~30)に於ける研修回数は、専門医度などによって異なるため、専門医度別で表示する。 A:各種専門医度、B:准看護師、C:准看護師							

中規目標 第2 領域に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(129・中間期)	29実績_自己評価		医療政策調査課 (H29年度評価)	医療政策調査課 (H30みなじ草場)
						説明	第2期(129~30)自己評価		
(3)知識や技術の普及	(3)知識や技術の普及	71	院内保育所建設等工事を実施し、運営方針を策定する。	A ①知識や技術の普及及び研究会等への参加で、研究会等に参加してきました。②講演会等で、園児の資格保持者から、園児の成長や発達についての講義を行いました。③園内の研究会等へ、教員修業の開放	・当初計画に対する進捗状況により実現するものの、保育所建設等により遅れました。(4)施設、利便性等を考慮しての、運営方針、運営方法、運営内容について調整・変更を行いました。(4)施設、利便性等を考慮しての、運営方針、運営方法、運営内容について調整・変更を行いました。	A ①知識や技術の普及及び研究会等への参加で、研究会等に参加してきました。②講演会等で、園児の資格保持者から、園児の成長や発達についての講義を行いました。③園内の研究会等へ、教員修業の開放	A ①知識や技術の普及及び研究会等への参加で、研究会等に参加してきました。②講演会等で、園児の資格保持者から、園児の成長や発達についての講義を行いました。③園内の研究会等へ、教員修業の開放	A ①知識や技術の普及及び研究会等への参加で、研究会等に参加してきました。②講演会等で、園児の資格保持者から、園児の成長や発達についての講義を行いました。③園内の研究会等へ、教員修業の開放	
(3)知識や技術の普及	(3)知識や技術の普及	72	研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	A ①研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	・研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	A ①研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	・研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	A ①研究費等や研究旅費等の予算化等により、学会や研究会等へ参加する。	
(3)知識や技術の普及	(3)知識や技術の普及	73	院内における資格取得等を促進する。	A ①院内における資格取得等を促進する。	・有資格、認可保育士は、職務を実行する上で、有用な資格を有する者と見なす。職務のためのアシスタントは、有資格者と同様に、院内における資格取得等を促進する。	A ①院内における資格取得等を促進する。	・資格等取扱制度は、看護師、コメディカル人材、事務職員が、看護師、コメディカル人材などと並んで、施設の運営に貢献するものとして、支給する助成金である。・毎年度、一定数の利用者がおり、資格取得者は年々増加している。A ①院内における資格取得等を促進する。	A ①院内における資格取得等を促進する。	

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期前回)	29実績自己評価		第2期(H29~30)自己評価	
						説明	医療改質課題認定(H29年度評価)	説明	医療改質課題認定(H29年度評価)
(2)診療等の情報の活用			1	H29 ・診療等の情報の活用 ・診療機能の評価指標の活用 ・診療機能の評価指標を、院内分析と院外分析との連携による院内外での情報連携を図ること ・他の医療機関へ情報提供を行うこと。	・H29までのDPC運営部会は2回開催、コーディング委員会は回開催した。 ・3月からDPC分析ソフトを利用開始した。 ・定期中期目標期間(H26~30) ・DPCコードを用いて、定期的な院内にについて分析を行って、定期的に院内評議会を行った。 ・初期費用をもとに、診療の削減率を定めた結果、A年、B年ともに減少率が約92%（H25年）とある。 ・各科別でDPC分析ソフトを用いた結果、A年はDPC分析ソフト使用料については、DPC分析ソフト使用料の年割合（DPC分析料額/年間診療料額）が最も高い（約38%）とある。 ・DPCコードを用いて、後発医薬品の使用率を算出し、運用を意識して、院内へ周知を行った。 ・DPCコードを用いて、後発医薬品の使用率を算出し、運用を意識して、院内へ周知を行った。	H28年度よりDPCの診療報酬を用いた分析結果を院内情報連携によるDPC会議で発表している。 H28年度よりDPC会議ード議論をA上に反映している。 A上に反映している。 ※DPC会議の議題は、医師へ周知をして、運用を意識して、院内へ周知を行っている。 ※DPC会議の議題は、医師へ周知をして、運用を意識して、院内へ周知を行っている。	■コーディング検討会議の開催	■DPCコードを用いて、定期的に院内情報を共有するため、DPC会議コード検討会議を開催すること。	■DPCコードを用いて、定期的に院内情報を共有するため、DPC会議コード検討会議を開催すること。
(2)診療等の情報の活用			78	DPCの実績情報に基づく症例分合 使用率の算出率を算出し、運用を実施して、運用を意識して、院内へ周知を行つた。	・他病院と比較したコーディング（入院患者の診療報酬分類の実績） DPC実績率（年間）を算出し、金額も示す。 ・DPCの実績率を算出し、金額も示す。 ・当該年は様々な研究会に出席して、A年から構成しない重要な情報をして、診療データベースを更新することにより、診療情報の管理体制を整えた。 ・H29では、H30の診療報酬算定のシミュレーションを試算して、運用を実施する。 ・H29では、H30の診療報酬算定による影響を試算して、運用を実施する。	Aより医療報酬の周知を図つた。	■DPCコードを用いて、定期的に院内情報を共有するため、DPC会議コード検討会議を開催すること。	■DPCコードを用いて、定期的に院内情報を共有するため、DPC会議コード検討会議を開催すること。	
(2)診療等の情報の活用			79	DPCの診療報酬を分析し、診療コードを分析する。 DPCの診療報酬を分析し、診療コードを分析する。 DPCの診療報酬を分析し、診療コードを分析する。 DPCの診療報酬を分析し、診療コードを分析する。	・DPCの診療報酬を分析し、DPCの診療報酬を分析する。 ・DPCの診療報酬を分析し、DPCの診療報酬を分析する。 ・DPCの診療報酬を分析し、DPCの診療報酬を分析する。 ・DPCの診療報酬を分析し、DPCの診療報酬を分析する。	A年から構成しない重要な情報をして、診療データベースを更新することにより、診療情報の管理体制を整えた。	・「運用に向けて調整中」とあるが、具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職員や顧客会に出席して、運用時間を通じて意見が挙げられなかった。 H27年度より算算システムを導入し、H27年度からH28年度まで原価計算システムの運用に面接にて調査中。	・「運用に向けて調整中」とあるが、具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職員や顧客会に出席して、運用時間を通じて意見が挙げられなかった。 H27年度より算算システムを導入し、H27年度からH28年度まで原価計算システムの運用に面接にて調査中。	・「運用に向けて調整中」とあるが、具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職員や顧客会に出席して、運用時間を通じて意見が挙げられなかった。 H27年度より算算システムを導入し、H27年度からH28年度まで原価計算システムの運用に面接にて調査中。
(2)診療等の情報の活用			80	公的機関としての透明責任・ 透明性を確保するため、各部門別に「不 規算実例の明示、原価計算」の明示、 料別、部門別原価計算に 取り組む。	H28年1月に原価計算システムを導入し、 H28年度より算算システムの運用にて診療 料別、部門別原価計算を行つた。 H27年6月に原価計算システムを導入し、 H27年6月より算算システムの運用にて診療 料別、部門別原価計算を行つた。	・原価計算システムの運用に面接にて調 査中。	・「運用に向けて調整中」とあるが、 具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職 員や顧客会に出席して、運用時間を通じて 意見が挙げられなかった。 Bより算算システムを用いて原価計算を行つた。	・「運用に向けて調整中」とあるが、 具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職 員や顧客会に出席して、運用時間を通じて 意見が挙げられなかった。 Bより算算システムを用いて原価計算を行つた。	・「運用に向けて調整中」とあるが、 具体的な運用見込み立っていない。 ・職員の満足度については、当該職員が職 員や顧客会に出席して、運用時間を通じて 意見が挙げられなかった。 Bより算算システムを用いて原価計算を行つた。

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(1~29・中期期間)		説明	29実績_自己評価 (Q3年度評価)	医療政策課課題 (Q3年度評価)	第2期(128~30)自己評価 説明	医療政策課課題 (Q3年度評価)
					各別記、特色を活かした企画講習会を開催した。						
(3)県民への情報提供の充実	(3)県民への情報提供の充実	1 基本への情報提供の充実 定期的な公開講座、医療相談会等による地元の医療・医療機関の紹介、医療相談会等を開催する。 2 ホームページ等による地元の情報発信を行う。 3 連絡会等による地元の情報発信を行う。 4 連絡会等による地元の情報発信を行う。	81	県民向け・医療機関向けの公開講座を開催する。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。 PRR開講座を行ったことなどがきっかけである。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。 PRR開講座を行ったことなどがきっかけである。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。	会開講座の開催を通じて、県民・県立病院機関共に多くの最新医療情報を得る機会を設けている。 A開講座を通じて、参加者数は年々増加傾向にある。開講座を行った公開講座を実施する。
・県民による公開講座の開催	・県民による公開講座の開催	82 参加に努める。	82	県民向け・医療機関向けの開催や PRR開講座を行ったことなどがきっかけである。	県民向けにイベントとして開催した。県民の姿を示していくうえで、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。県民向けにイベントとして開催した。県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。
・県民によるPRR開講座の開催	・県民によるPRR開講座の開催	83 参加に努める。	83	県民向け・医療機関向けのPRR開講座の開催	県民向けにPRR開講座を行った。県民の姿を示していくうえで、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。
・県民によるPRR開講座の開催	・県民によるPRR開講座の開催	84 参加に努める。	84	県民によるPRR開講座の開催	県民によるPRR開講座の開催を行った。県民の姿を示していくうえで、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。	A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開催を行った。
4 医療に関する地域への支援	4 医療に関する地域への支援	第2	1	医療に関する地域への支援	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。	地域医療支援の中核的機能を果すため、急性期病院を主とする地域医療連携体制を構築する。 A開講座を通じて、県民が開催していることを目的として、県民向けの開講座を行った。

中期目標

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期前)	説明	29実績_自己評価		医療改質課題認定 (H26~H30みなじ評価)
							第2期(H29~30)自己評価	説明	
①地域医療への支授	②地域医療への支授	H29		・H29年より開始する新専門医制度に向けて、プログラムの作成を7領域において、全領域において「日本専門医機構」の審査を受け、合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・ホールディングスの導入など、積極的に募集を行っている。	・プログラムの作成を7領域において審査を受け合格を受けた。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年より開始する新専門医制度に向けて、プログラムの作成を7領域において、全領域において「日本専門医機構」の審査を受け、合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。	B) プログラムの作成を7領域において、全領域において審査を受け合格を受けた。 ・新専門医制度の開始は順次であり、各病院にて研修プログラムを策定して、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。	A) プログラムの作成を7領域において、全領域において審査を受け合格を受けた。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。	B) プログラムの作成を7領域において、全領域において審査を受け合格を受けた。 ・新専門医制度の開始にあたり、各病院にて研修プログラムを実施する。	
専攻医を受け入れる体制を整備し、専攻医の募集を行う。 89	専攻医を受け入れる体制を整備し、専攻医の募集を行う。	H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。 90		・H29年より開始する新専門医制度に向けて、プログラムを作成して、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年より開始する新専門医制度に向けて、プログラムを作成して、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年より開始する新専門医制度に向けて、プログラムを作成して、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。	A) H29年度より開始する新専門医制度について、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 B) H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	A) H29年度より開始する新専門医制度について、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 B) H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	A) H29年度より開始する新専門医制度について、新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 B) H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	
③地域医療への支授	④地域医療への支授	H29		PT・MRI・CT等による診察用機器の導入と連携。 91	①PT・MRI・CT・セントラル技術者による診察用機器の導入と連携。 ②IT技術者による地域医療情報システムの構築及び支援。 ③地域医療情報システムの運用と連携。 ④他の医療機関との医療情報連携などの医療情報連携や連絡などの医療情報連携。 ⑤地域医療連携などの医療情報連携。 ⑥地域医療連携などの医療情報連携。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。
⑤地域医療への支授	⑥地域医療への支授	H29		CT・MRI・超音波検査等による診察用機器の導入と連携。 92	①CT・MRI・超音波検査等による診察用機器の導入と連携。 ②CT・MRI・超音波検査等による診察用機器の導入と連携。 ③CT・MRI・超音波検査等による診察用機器の導入と連携。 ④他の医療機関との医療情報連携。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。	・H29年度から新規申請を行っており、専門医制度に合格した。専門医制度に向けた、全診療科の受入れ体制を整備する新専門医制度について、H28年度より着手し、研修医向けプログラムを策定を行い、専門医制度の実現を目指す。 ・H29年度から新制度に従事して、新制度に則った印鑑を実施している。

中期目標	中期計画	年度計画	No.	行動計画	業務の実績(H29・中期期間)	29実績_自己評価		説明	第2期(H28~30)自己評価	医療政策課課長 (H28年度評価)
						定期評議会	医療政策課課長 (H29年度評価)			
③社会的な要請への協応	①社会的な要請への協応	④社会的な要請への協応	③社会的な要請への協応	・小児医療ネットワークを通じて、近畿医療大学との合同開催による「近畿医療大学と近畿医療センターとの接続試験」を実施した。併せて、心エコー検査と連携して、他の医療機関と連携し、心エコー検査を実施している。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会
93	国内外の医療機関との映像会報を通じた研究や診断を実施する。	94	院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関と連携し、映像会報を通じたカーファレンスを実施する。	国内外の医療機関との映像会報を通じ、映像会報を通じたカーファレンスを行った。(H29年度13回実施)。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会
95	他団体との連携協力による講習会等を開催する。	96	他団体からの講習会等を定期的に開催し、医療機関等に対する講習会等を開催する。	他団体等が主催する講習会等を開催する等、積極的な連携を行った。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会
97	医療における監定等の要請へ応じる。	98	他団体等が主催する講習会等の運営や研修会等の運営を行う。	他団体等が主催する講習会等を開催する等、積極的な連携を行った。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会
1	③社会的な要請への協応	4	③社会的な要請への協応	・小児医療ネットワークを通じて、近畿医療大学との接続試験を行った。併せて、心エコー検査と連携して、他の医療機関と連携し、心エコー検査を実施している。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会
(3)	②社会的な要請への協応	(3)	②社会的な要請への協応	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会	定期評議会
99	小児健診実行率向上のための公費負担申請等の連絡会議等を実施する。	100	小児健診実行率向上のための公費負担申請等の連絡会議等を実施する。	定期評議会	定期評議会	定期評議会	A:実施済	定期評議会	定期評議会	定期評議会